

領域	専門分野Ⅱ	授業科目	成人看護学概論	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	

授業のねらい

本科目は成人看護学の導入となる科目である。変革の時代を生きる大人を対象に、その人にとって最適な健康を維持・増進するための看護援助を学ぶ。

授業目標

1. 成人の生活と健康を理解する。
2. 成人看護の基本となる考え方や方法論を理解する。
3. 成人のさまざまな健康レベルに対応した看護を理解する。
4. 成人の健康生活を回復・維持・促進するための看護技術を理解する。

授業概要

以下の予定であるが、学生の受講状況により変更することがある。

1	「対象の理解」大人はどのような発達課題をとげ、社会的期待や役割を果たしているのかを学ぶ	レポート課題①
2	「生活と健康」成人を取り巻く環境と生活状況について理解し、健康で安全な生活の維持・促進の方略を学ぶ	
3	「大人の学習①」行動を生み、はぐくむ援助を学ぶ	プレテスト
4	「大人の学習②」健康問題をもつ大人と看護師の人間関係を学ぶ	
5	「看護師の役割」倫理的判断、患者の意思決定支援、看護マネジメント、家族支援を学ぶ	
6	「ヘルスプロモーションと健康をおびやかす要因」看護の役割を学ぶ	レポート課題②
7	「健康生活の急激な破綻から回復を促す看護」看護の役割を学ぶ	
8	「慢性期との共存を支える看護」看護の役割を学ぶ	
9	「障害がある人の生活とリハビリテーション」看護の役割を学ぶ	
10	「人生の最期のときを支える看護」看護の役割を学ぶ	プレテスト
11	「学習者である患者への看護技術」事例の登場人物の状況に対応する看護を通して学ぶ	
12	「治療過程にある患者への看護技術」事例の登場人物の状況に対応する看護を通して学ぶ	
13	「症状マネジメントにおける看護技術」と「療養の場を移行する人々への看護技術」8~12の学びを基盤に学ぶ	
14	「新たな治療法、先端医療と看護」まとめ	

授業の進め方

看護を学ぶ学生は成人期にある。教科書を読み、社会情勢に関心を持ち、考えながら学んでいただきたい。学びの経験を促すためにレポート課題、プレテストを取り入れている。授業資料、必要時に資料等を配布するが、教科書を軸として授業展開するので隅から隅まで読み込んで授業に臨んでください。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔1〕成人看護学総論(医学書院)

参考図書

国民衛生の動向(厚生統計協会)HIROKAWA/成人看護概論・リハビリテーション看護論・エト・オブライヴァ看護学犠牲(ザクリフェイス):柳田邦夫 文春文庫

評価方法

終講時 客観的テスト(100点)、レポート課題、プレテスト、出席を踏まえて総合的に評価する
試験時間は時間数に含む。(課題1時間、試験1時間)